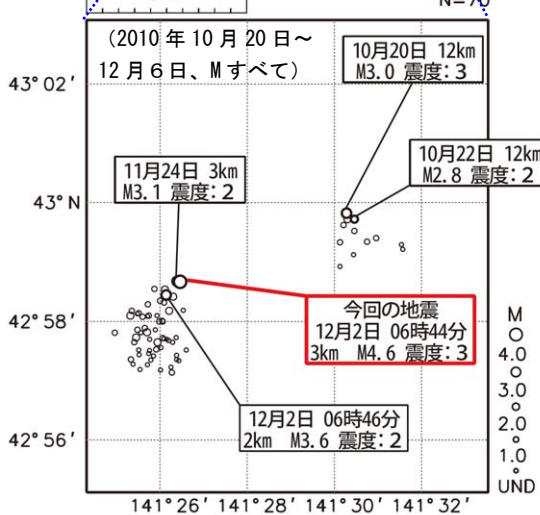
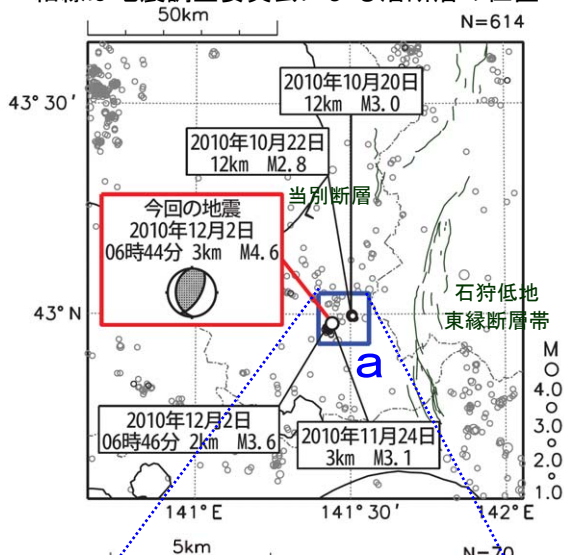
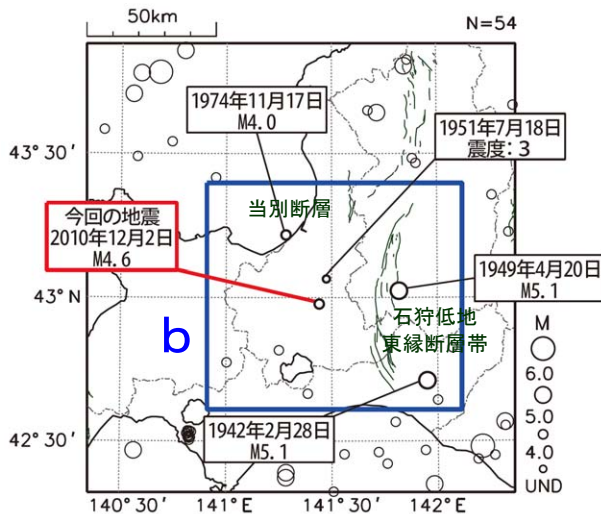


12月2日 石狩地方中部の地震

震央分布図
 (2001年10月1日～2010年12月6日、
 深さ0～50km、 $M \geq 1.0$)
 2010年10月以降の地震を濃く表示
 細線は地震調査委員会による活断層の位置



震央分布図
 (1923年8月1日～2010年12月6日、
 深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)
 細線は地震調査委員会による活断層の位置

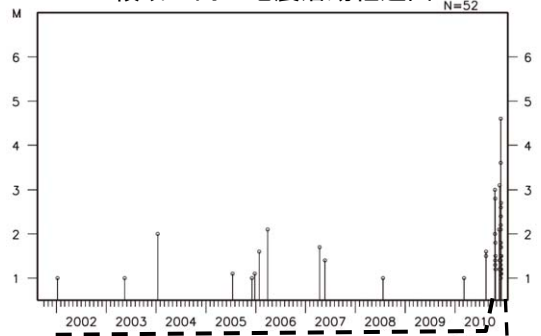


2010年12月2日06時44分に石狩地方中部の深さ3kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震の後、震度1以上を観測する地震が6回発生している(12月7日現在)。この地震により建物破損や斜面崩落などの被害があった(札幌市清田区、北広島市による)。札幌管区気象台が実施した現地調査によると、震源に近いところでは局所的に震度4～5弱相当の揺れがあったものと推定される。

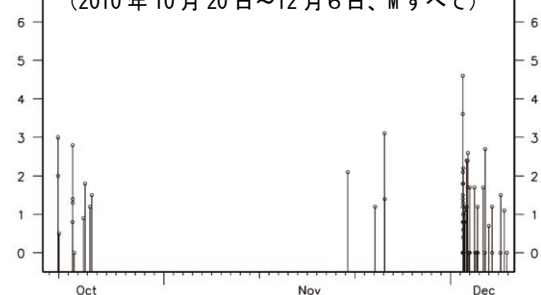
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、2010年10月20日から10月24日と11月20日から11月24日にまとまった地震活動があった。これらの活動以前にはM3.0以上の地震は発生していなかった。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M5.0以上の地震が2回発生しているが、M6.0以上の地震は発生していない。なお、今回の地震の震央付近では1951年7月18日に震度3を観測する地震(参考値:M4.5)が発生している。

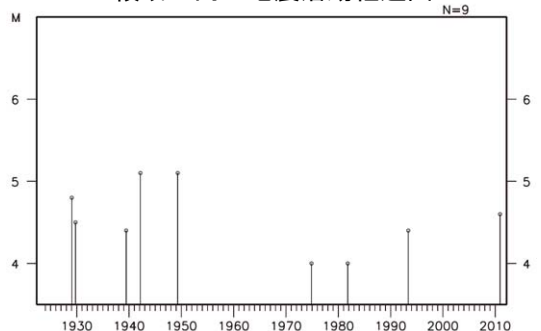
領域a内の地震活動経過図



(2010年10月20日～12月6日、Mすべて)



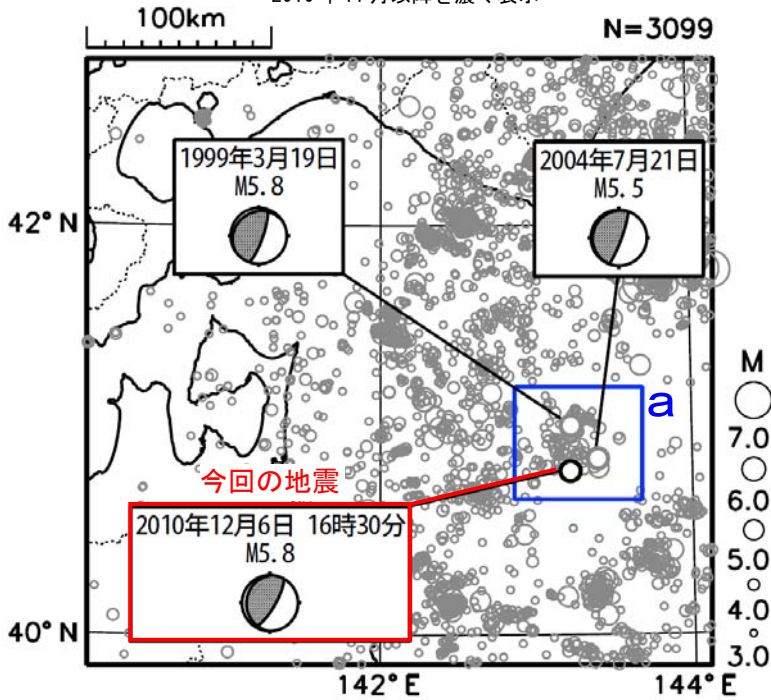
領域b内の地震活動経過図



12月6日 青森県東方沖の地震

震央分布図 (1997年10月1日～2010年12月6日、 $M \geq 3.0$ 、深さ0～120km)

2010年11月以降を濃く表示

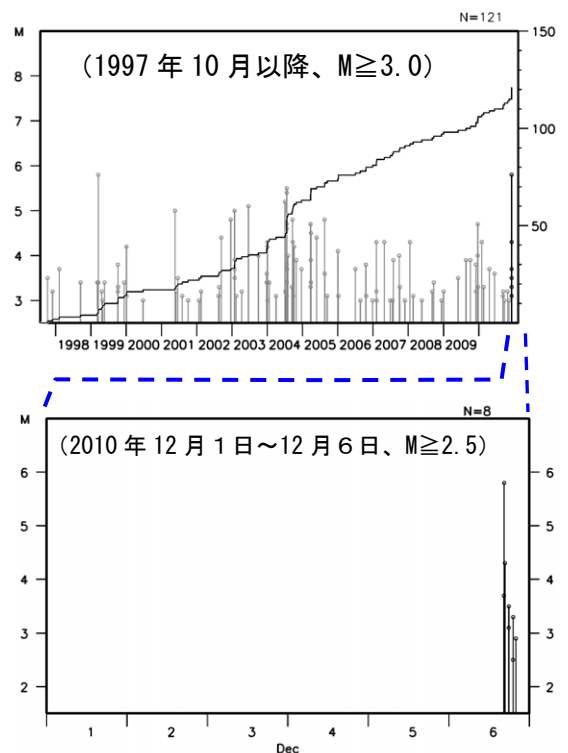


※発震機構はCMT解を表示

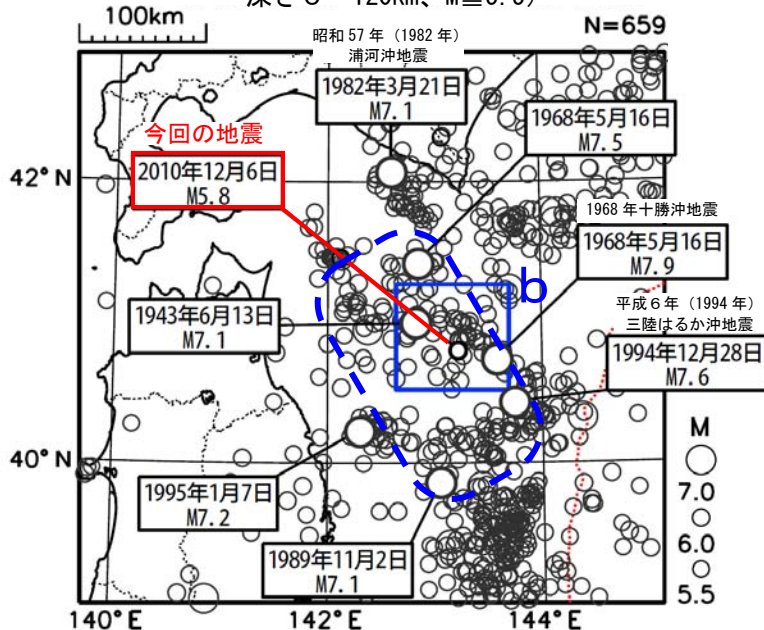
2010年12月6日16時30分に青森県東方沖でM5.8の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。余震活動は低調である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、1999年3月19日のM5.8の地震(最大震度3)など、M5.0以上の地震がしばしば発生している。

領域a内の地震活動経過図、回数積算図



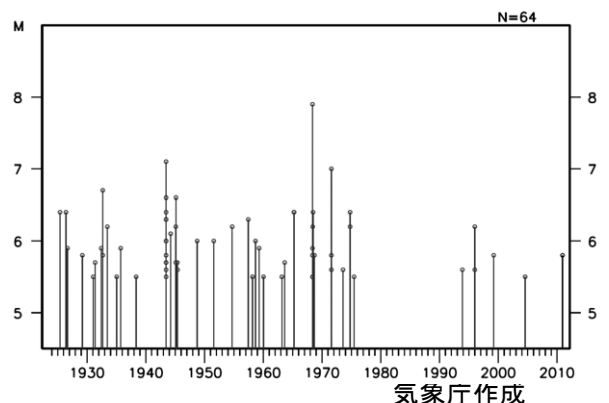
震央分布図 (1923年8月1日～2010年12月6日、深さ0～120km、 $M \geq 5.5$)



三陸沖北部のプレート間地震の想定震源域 (地震調査委員会による)

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が度々発生している。「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)では、死者・行方不明者52人、負傷者330人などの被害が生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域b内の地震活動経過図



気象庁作成